

国立療養所沖縄愛楽園土地等利活用に係る サウンディング（対話）型市場調査の実施結果

令和2年3月31日
名護市地域政策部企画情報課

本市屋我地地区に所在する国立療養所沖縄愛楽園（以下、「沖縄愛楽園」という）の未利用となっている土地の有効活用を図るため、平成31年3月に「国立療養所沖縄愛楽園土地等利活用基本計画」（以下、「基本計画」という）を策定し、今後、基本計画の着実な推進を図るため、沖縄愛楽園の土地等利活用に関する「サウンディング（対話）型市場調査」を実施しました。

1 対象地の概要

所在地	沖縄県名護市字済井出1192番地 国立療養所沖縄愛楽園地内			
対象場所	基本計画2, 13ページ参照（名護市済井出大堂）			
	地番	地目	地籍	備考
	1188番	畑	99,652㎡	一部
	1216番2	宅地	1,793.58㎡	一部
	1242番	原野	515㎡	
	1246番	畑	280㎡	
	1257番	畑	327㎡	
	1285番	畑	24,273㎡	
	1285番2	雑種地	525㎡	
所有	厚生労働省			
面積	約11.3ha			
土地利用 規制現況	基本計画15～20ページ参照			

2 調査経過

実施日		実施内容
令和元年	11月5日	実施要領公開
	11月29日	事前説明会及び現地視察会の開催
令和2年	1月21日	対話の実施
	3月31日	実施結果公開

3 参加状況 : 4者

4 実施結果

(1) 活用アイデア

提案された活用アイデアは、基本計画で設定した4つのゾーン（交流促進ゾーン、福祉・健康交流ゾーン、保養・療養交流ゾーン、将来展開ゾーン）で想定された施設等の提案が主であった。具体的には下記のとおり。

- 老人福祉施設
- 障がい者保養施設
- 宿泊施設
- 医療施設
- 福祉系教育施設
- その他商業施設

(2) 主な対話内容

- 当該土地は、起伏が大きい土地であるものの、それを活かした活用が期待され、立地としてのポテンシャルは高いことが確認できました。
- 基本計画で示した活用アイデアが事業者から提案され、成立可能性は高いとの認識が示されました。
- 広大な土地を一団で整備する場合は、収益性が高い施設の誘致が必要となる可能性が高いことが分かりました。
- 公募については、自由度の高い公募とするよう要望がありました。

5 今後の予定

次年度につきましては、新たな事業者も含め対話を重ねていき、国立療養所沖縄愛楽園の土地等の利活用可能性について調査を継続していく予定となっております。